

上水道施設

日本水道協会規格 **JWWAK143**に適合

ジックレジン NP-143F工法

ジックレジン NP-143F工法は、日本水道協会規格 JWWAK 143規格に適合すると共に、コンクリート保護機能の高耐久性を有するビスフェノールFタイプのエポキシ樹脂上塗り材を適用している水道用コンクリート水槽用コーティング工法です。

材質 **エポキシ樹脂**

被覆構成



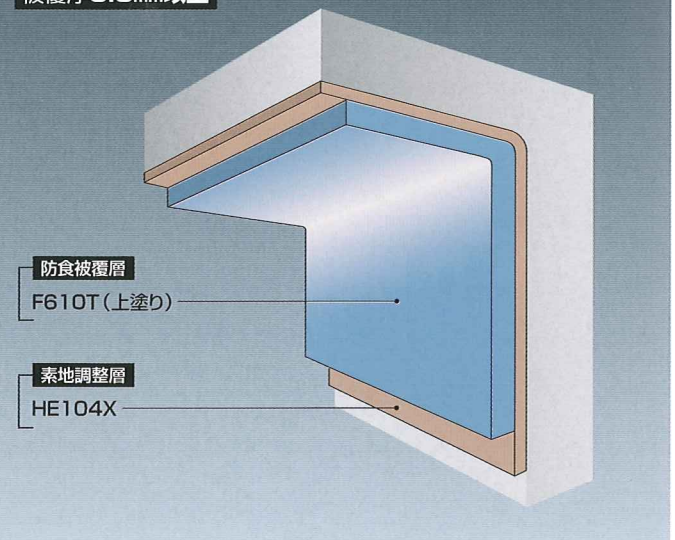
素地調整材
エポキシエマルジョン系
ポリマーセメント

+

防食被覆材
エポキシ樹脂

NP-143F工法 [被覆構成]

被覆厚**0.5mm以上**



特長

- 1) 高強度特性を有するエポキシ樹脂と粉体配合の下地修正材を適用しており、コンクリートと塗膜の接着界面に発生する各種応力による塗膜の接着損傷を防止する優れた接着安定機能を持っています。
- 2) コンクリート下地の表面含水率に関わりなく優れた接着力を発現するため、下地の乾燥及び水分測定が必要がなく、経済的・効率的な施工が行えます。
- 3) 平滑な修正下地により、均一な厚みをもつ欠陥のない塗膜を容易に形成することができます。
- 4) 化学的抵抗性に優れた不透過性の強靱な硬化塗膜を形成します。
- 5) 硬化塗膜は、日本水道協会規格JWWA K 143に規定された塗膜の品質に適合します。
- 6) 硬化塗膜は、厚生省令第15号台条17.ハ 水道施設の技術的基準を定める省令及び厚生労働省令第26号による水質基準に適合します。

対象施設

水道関連施設のコンクリート製水槽類：配水池、受水槽、浄水池などの浄水施設
その他のコンクリート水槽内面：ファームポンド、防火水槽など

ジックレジン NP-143F工法

施工仕様

工 程	使用材料名	塗り重ね間隔 (20℃) (前工程終了後)	標準使用量 (kg/m ²)	塗り回数 (回)	硬化塗膜厚さ (mm)
下地修正	ジックレジン HE104X	下地処理後 短期間内	1.0~1.5	1~2	0.5~0.75
上塗り	ジックレジン F610T	下地修正後 16時間以上14日以内	0.78~0.84	3~4	0.5以上
		上塗り後 12時間以上7日以内			

※1. 施工対象部位のコンクリート表面に豆板・段差・漏水箇所などの欠陥がある場合は、施工に先立って適切な方法で補修して下さい。

※2. JWWAK143硬化塗膜の規格値・・・0.5mm以上

※3. 下地修正の標準使用量は、下地コンクリートの状況により変動する。

※4. 上塗りの標準使用量は塗り回数の合計使用量を示す。

※5. 上塗りの使用量および塗り回数は硬化膜厚の設計値により増減が可能。

塗膜性能

項 目		規 格	試 験 結 果
コンクリートとの 接着性	標準状態	1.5N/mm ² 以上	適 合
	吸水状態	1.2N/mm ² 以上	適 合
耐衝撃性		割れ・はがれがないこと	異常なし
耐アルカリ性		膨れ・割れ・はがれがないこと	異常なし
透水性		透水量0.2g以下	適 合
塩素イオン透過度		1.0×10 ⁻³ mg/cm ² ・日以下	適 合
低温・高温繰返し		割れ・はがれがないこと	異常なし
溶出性		基準値以下	適 合

会員名

JR JERコンクリート補改修協会
(旧協会名：JER認定施工協会)

事務局(日本ジッコウ内)

〒651-2116 神戸市西区南別府1丁目14番6号
TEL:078-977-0701(代) FAX:078-977-0722
URL:http://www.jer.jp E-mail:info@jer.jp